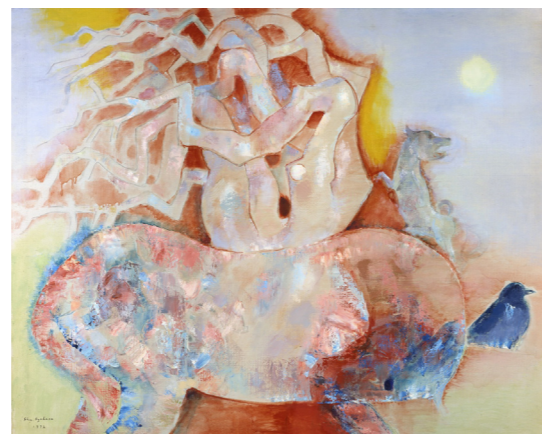


感動一点の場

『馬と鴉と犬』

1972年 小川原 脩 画



画面には大きな馬が一頭、首を下げて静かに立っています。足元には一羽の鴉がうずくまり、背景には犬の姿もあります。長い年月の風雪に耐えて曲がりくねった枝をもつ樹木も描かれています。馬の体はどっしりとした塊のように表され、わずかに踏み出す前足と踏ん張る後ろ足が、ゆっくりと前へ進もうとする気配を感じさせます。

この馬の姿は、同時期の作品《濃霧地帯》(1971年)などにもほぼ同じ形で登場します。顔を上げず黙々と進むその姿は、厳しい自然の中で生きる動物の力強さと同時に、静かな忍耐を思わせます。犬や鴉といった身近な動物たちもまた、この土地の風景の中で共に生きる存在として描かれています。

小川原脩の作品には、こうした動物のモチーフが時を隔てて再び現れることがあります。先月ご紹介した《馬とゴンパ》(1991年)にも通じる馬の姿を見ることができました。過去に描いた姿や記憶に刻まれた原風景を大切に抱えながら、それらは別の作品の中で再び現れ、静かに積み重なって小川原独自の世界を形づくっていくのです。

文:沼田 絵美 (小川原脩記念美術館 副館長)

ふるさと探訪

写真に見るちょっと昔の倶知安 - 倶知安小学校旧校舎 -

向かい合う新旧二つの校舎。1989(平成元)年、現在の倶知安小学校の校舎が完成した際に撮影された一枚です。昭和の時代を駆け抜けた木造の旧校舎が、平成へ向かう新校舎へ静かにバトンを渡しているかのようです。

この旧校舎は1933(昭和8)年に建てられ、倶知安小学校では5代目の校舎でした。赤い屋根の木造2階建てで、普通教室のほか理科室、図画室、唱歌室、裁縫室、作法室などを備えた先進的な校舎でした。「そよげ白樺」と校歌に歌われる白樺の木が校舎の周りに植えられたのもこの頃です。

1958(昭和33)年に北陽小学校が開校するまで市街地で唯一の小学校だったため、戦後ベビーブームの子どもたちが入学した時期には児童数1,800人を超えるマンモス校となり、教室が足りず、体育館を仕切って授業が行われたこともありました。

旧校舎は1990(平成2)年、グラウンド造成に伴い解体されました。校庭には今も白樺の木が立ち、子どもたちの姿を静かに見守っています。

文:紺谷 貴之 (倶知安風土館 学芸補助員)



▲旧校舎正面と白樺の木



▲中庭 (かつて噴水もあった)



▲2階教室と長い廊下



▲旧校舎の屋内体育館

516回



▲向かい合う倶知安小の新旧校舎

展覧会のお知らせ

■第1・第2展示室

特別展「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館
所蔵作品交換展 二人の歩んだ道」

北の大地で農民として生きながら、絵を描くことに短い命を燃やした画家・神田日勝。神田日勝記念美術館(鹿追町)との所蔵作品交換展を開催します。第1展示室では神田日勝の画業を、第2展示室では小川原脩の画業を紹介します。

会期:4月11日(土)~7月12日(日)

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

特別展オープニングセレモニー

日時:4月11日(土)10時~

ギャラリートーク

特別展の見どころを学芸員が楽しく解説します。

日時:4月11日(土)14時~14時30分

会場:第1展示室(予約不要・無料)

講師:沼田絵美(副館長・学芸員)

■ワークショップ

工作ワークショップ「こいのぼりを作ろう、描こう」

【連休中いつでも参加できます】

こいのぼりの紙工作や筆ペンで「こいのぼり」カードを作る材料を用意しています。

日時:4月25日(土)~5月6日(水・振休)

9時~16時30分 会場:ロビー(予約不要・無料)

令和8年度 展覧会スケジュール

※展覧会の会期・内容は変更になる可能性があります

第1展示室

特別展「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館 所蔵作品交換展(神田日勝作品)」	4月11日(土)~7月12日(日)
小川原脩展「アジアの大地」	7月18日(土)~9月23日(水・祝)
第68回麓彩会展	10月3日(土)~令和9年1月17日(日)
小川原脩展「私の中の原風景」	令和9年1月30日(土)~4月11日(日)

第2展示室

特別展「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館 所蔵作品交換展(小川原脩作品)」	4月11日(土)~7月12日(日)
しりべしミュージアムロード共同展	7月18日(土)~9月23日(水・祝)
小川原脩展「小川原脩と麓彩会-はじまりの頃」	10月3日(土)~令和9年1月17日(日)
徳丸滋展	令和9年1月30日(土)~4月11日(日)

ロビー展示

くっちゃん景観フォトコンテスト入賞作品展	4月25日(土)~5月17日(日)
北口さつき展	6月1日(月)~29日(月)

4月の休館日 毎週火曜日、1日~10日は
展示替え(美術館のみ)

11日は展覧会初日のため観覧無料
*特別展会期パスポート(美術館のみ)
1,000円
*特別展会期中は高校生以下無料

いよいよ始まります!

3月の広報でも少し触れましたが、小川原脩記念美術館では4月11日より特別展「神田日勝記念美術館×小川原脩記念美術館所蔵作品交換展 二人の歩んだ道」が開催されます。

この特別展では、十勝 鹿追町の神田日勝記念美術館から貴重な作品の数々が町にやってきます。中にはもちろん「あの馬」の絵も。それ以外にも非常に見応えのある作品が展示される予定で、町でこれらの作品を見ることができるといえるチャンスです!

同時に小川原脩の代表作品も多数展示され、芸術を通じて自己の確立を目指した小川原脩と神田日勝がそれぞれ歩んだ画業をご覧いただける充実した展覧会になると思いますので、ぜひご覧ください。

また、特別展の会期中、何度もご利用いただけるお得な会期パスポートをご用意する予定です。

館長 高橋 淳之